

まず、はじめに

ハザードマップで自宅の災害リスクを確認しよう

○ ハザードマップとは

ハザードマップとは、浸水や土砂災害の危険がある地域や災害発生時の避難先（指定避難所など）が示された地図のことで、災害のリスクがあるエリアに色が塗られています。ご自宅の場所の災害リスクをあらかじめ確認しましょう。

ハザードマップは、市町村ごとに作成しておりますので、お住まいの市町村のホームページで確認するか、市町村の防災担当課へお問い合わせください。



令和5年台風第13号による県内の浸水被害の様子

いざという時の“自分”のために

ハザードマップは右の二次元コードから確認できます。



ハザードマップイメージ

自宅の場所が色が塗られたエリア（災害リスク有）に位置する場合、

我が家のタイムラインを作成しよう

近年、台風などによる記録的な大雨が全国各地で相次ぎ、大規模な水害や土砂災害が発生しています。本県でも、平成27年9月関東・東北豪雨では約4,200人、令和元年東日本台風では約330人の方の避難が間に合わず、「逃げ遅れ」となっております。

こうしたことを防ぐため、平時のうちに、各家庭において逃げ遅れないためにやるべきことを確認しておく「我が家のタイムライン」を作成しておきましょう。

作成方法

① 名前を記入しましょう。

② 災害（浸水、土砂災害）がおきた時の避難先を記入しましょう。

※避難先は市町村の避難所へ。もしくは、ハザードマップで色が塗られていない親戚・友人宅または市外、県外などへ。

③ 避難先までの移動手段を記入しましょう。

④ 避難先までのおおよその移動時間を記入しましょう。

⑤ 避難するときにとっていくものを○で囲みましょう。

⑥ 避難するタイミングを決めて○で囲みましょう。

- ・【警戒レベル3】高齢者等避難 一緒に逃げる家族の中に、高齢者など避難に時間がかかる人がいる場合に選択。
- ・【警戒レベル4】避難指示 上記以外の場合に選択。

近年、台風等による大雨で洪水が発生し、県内で死傷者が発生しております。この「我が家のタイムライン」で災害時に取るべき行動を！

我が家のタイムライン【共通版】 (1) 家

まず、ハザードマップで我が家の災害リスクを確認！

② 避難先 (避難所、親戚宅、友人宅) ③ 避難先までの移動手段 ④ 避難先までの移動時間

⑤ 避難するときにとっていくものを○で囲みましょう。

⑥ 避難するタイミングを決めて○で囲みましょう。

【警戒レベル1】 浸水・土砂災害 避難先・避難経路を確認

【警戒レベル2】 浸水・土砂災害 避難先・避難経路を確認

【警戒レベル3】 高齢者等避難が 発令

【警戒レベル4】 避難指示が発令

【警戒レベル5】 浸水・土砂災害 避難先・避難経路を確認

※このタイムラインは、災害発生時の避難行動の目安として作成されています。内容に変更がある場合は見直しを！

○その他 防災情報

・キキクル（危険度分布）災害（洪水、土砂災害）の危険度の高まりを確認できます



・茨城県河川情報 県内の河川の水位情報や、雨量情報などが確認できます

